

NHK 大河ドラマ『西郷どん』ロケ現場（始良地区）での救護活動

平成 29 年 8 月 26 日（土）NHK 大河ドラマ『西郷どん』ロケ現場（始良地区）にて撮影参加者の体調管理や体調不良に伴う看護を目的に、鹿児島県看護協会を代表し救護員として参加しました。撮影は、蒲生町掛橋坂と加治木町精矛神社にて行われました。当初の天気予報は晴れ時々もりでしたが、午前 9 時頃より、断続的に激しい雨に見舞われ撮影も一時中断するほどでした。また、今回の撮影は子役を中心に役者 10 名、エキストラ 230 名が参加し、30℃を超える気温の中甲冑を身にまとっての撮影だったためか、気分不良や草鞋による擦過傷、転倒による捻挫等 21 名の子ども達へ対応しました。幸い大事に至らず水分補給や休養、湿布などの対応で元気を取り戻すことができホッとしました。



笑顔で撮影現場に向かう鎧姿の子役達

【蒲生町掛橋坂】



子供達への救護活動風景



精矛神社に鎧甲姿の中・高校生エキストラが集結

【加治木町精矛神社】



気分不良者に対しての看護

看護協会を代表して、原田ケイ子専務理事、国立病院機構南九州病院から鮫島明子始良伊佐地区理事、西郷涼子始良伊佐地区書記、的場浩二始良伊佐地区教育委員長の 4 名で参加しました。短い時間ではありましたが、『西郷どん』の撮影現場という非日常の世界を垣間見て、幕末にタイムスリップしたような感覚になりました。来春放映予定の『西郷どん』からますます目が離せません。貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

始良伊佐地区教育委員長：的場浩二

NHK 大河ドラマ『西郷どん』ロケ現場（南九州市）での救護活動

平成 29 年 8 月 27 日（日）は前日の始良地区から NHK 大河ドラマ『西郷どん』ロケ現場を知覧町に移しての、救護活動を加世田保健所から保健師の永濱たか子技術補佐、日高貴子技術主査、南谷さやか保健技師、薩南病院からは中村昭子地区長、屋 和代書記、玉利美智子看護師長が実施しました。撮影は、知覧町武家屋敷で、午前中は一時的に豪雨に見舞われましたが、午後からは好天気になり撮影は子役を中心に役者、エキストラ 300 名を超える参加者で甲冑や脚絆、草鞋を身にまとっての撮影で、気分不良や草鞋による擦過傷等約 10 名の子ども達へ対応しました。前日 2 人ずつの救護体制のため急遽 3 名体制で対応し、具合の悪い子どもへの所へ駆けつけての対応を行いました。この日も救急搬送することなく済、ホッとしました。 南薩地区長：中村昭子

